

報道関係者各位

プレスリリース

2012年5月31日

株式会社神戸デジタル・ラボ

神戸デジタル・ラボ、グローバル企業向け Web セキュリティ英語対応サービスを開始 —グローバル企業の Web セキュリティについて、英語にて対応・診断・報告—

株式会社神戸デジタル・ラボ(本社:兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長:永吉 一郎)は、グローバル企業向け Web セキュリティ英語対応サービス「ProactiveDefense for Global」を、2012年6月1日(金)より開始します。

■グローバル企業の Web サイトがかかえるリスク

近年、企業の Web サイトをターゲットとしたセキュリティ攻撃が後を絶ちません。これらのセキュリティ攻撃により、企業の顧客データや商品データなどの機密情報が漏えいし、連日のようにメディアで取り上げられるようになってきています。

中でも世界展開をしているグローバル企業においては、海外拠点や海外の現地法人が運営する Web サイトへのセキュリティ対策・指導が十分に行き届かないケースや、状況を把握できないケースが散見され、大きなリスクをかかえていると言えます。

グローバル企業の Web サイトがかかえている具体的なリスクとして、以下のものが考えられます。

1. 世界展開をしている日本企業の現地サイト

- ・現地ごとに個別にシステムが構築され、日本本社の Web サイトに比べてセキュリティレベルが低い
(現地サイトの脆弱性を狙われ、情報漏えいを引き起こすリスクがある)
- ・海外拠点も含めた統一したセキュリティポリシがない、或いは、日本本社で定めたセキュリティポリシを理解できる現地スタッフがいない
(セキュリティレベルを維持・向上させることができないリスクがある)

2. 日本展開をしている外資系企業の日本サイト

- ・日本で独自にシステムが構築され、本社の Web サイトとセキュリティレベルに違いがある
(日本サイトの脆弱性を狙われ、情報漏えいを引き起こすリスクがある)
- ・日本拠点も含めた統一したセキュリティポリシがない、或いは、本社で定めたセキュリティポリシを理解できるスタッフが日本にいない
(セキュリティレベルを維持・向上させることができないリスクがある)

■神戸デジタル・ラボが提供するグローバル企業向け Web セキュリティ英語対応サービス

上記リスクに対応するため、神戸デジタル・ラボではグローバル企業向け Web セキュリティ英語対応サービスを提供します。

具体的には、以前から日本企業向けに提供していた Web サイトのセキュリティ診断での 250 サイト以上もの実績・ノウハウを元に、英語を母語として理解する GIAC 資格(※)保有のセキュリティエキスパート 2 名が、グローバル企業向けに英語での受付・診断・報告を行います。

※GIAC(Global Information Assurance Certification)とは

政府や企業・団体間における研究、及びそれらに所属する人々の IT セキュリティ教育を目的として 1989 年に設立された「SANS Institute」が 1999 年に創設。セキュリティプロフェッショナルの技術やスキルを客観的に証明する資格として世界的に権威あるものです。

GIAC 資格の最上位に位置する GSE(GIAC Security Expert)には 5 つの GIAC 資格を取得していることが前提となります。全世界中でたった 2 人しかいません。神戸デジタル・ラボのセキュリティ・エキスパートは、これに準ずる 4 つの GIAC 資格を取得しております。

■「ProactiveDefense for Global」のメニュー

神戸デジタル・ラボが提供するグローバル企業向け英語対応サービスの具体的なメニューは、以下となります。

(1) 世界展開している日本企業の現地サイト向け

- ・対象 : 世界展開している日本企業の現地サイト
- ・内容 : サイトのセキュリティ診断・報告（日本語／英語での受付・診断・報告）
 - －セキュリティ要件のヒアリング（本社ポリシ、対象拠点、現状、最終目的）
 - －各拠点事前ヒアリング
 - （サイトの構成、サービスレベル、診断リスク共有等：英語言語圏を基本、その他は別途ご相談）
 - －各拠点 Web セキュリティ診断（診断開始終了メール、速報、本社向け報告書作成）
 - －本社向け報告会（日本語の全拠点統括報告、各拠点ごとの対策の検討）
 - －各拠点向け報告会、改修指示の実施（オンライン、電子会議など）
 - －各拠点改修状況管理、本社への報告（各拠点ごとの対応）
 - －再診断実施（改修箇所の再診断）
 - －本社・各拠点への報告

(2) 日本展開をしている外資系企業の日本サイト向け

- ・対象 : 日本展開している外資系企業の日本サイト
- ・内容 : サイトのセキュリティ診断・報告（日本語／英語での受付・診断・報告）
 - －セキュリティ要件のヒアリング（本社ポリシ、対象拠点、現状、最終目的）
 - －各拠点事前ヒアリング
 - （サイトの構成、サービスレベル、診断リスク共有等：英語言語圏を基本、その他は別途ご相談）
 - －各拠点 Web セキュリティ診断（診断開始終了メール、速報、本社向け報告書作成）
 - －本社向け報告会（日本語の全拠点統括報告、各拠点ごとの対策の検討）
 - －各拠点向け報告会、改修指示の実施（オンライン、電子会議など）
 - －各拠点改修状況管理、本社への報告（各拠点ごとの対応）
 - －再診断実施（改修箇所の再診断）
 - －本社・各拠点への報告

■価格

50 万円～（診断対象 URL 数 25、診断項目 5 項目を想定）

【ProactiveDefense 公式サイト】

<http://proactivedefense.jp/>

※ProactiveDefense は以下の商標で登録済です。



【サービス紹介ページ】

<http://www.proactivedefense.jp/Global/Index>

【会社概要】

社名 : 株式会社神戸デジタル・ラボ
代表者 : 代表取締役社長 永吉 一郎
所在地 : (神戸本社) 〒650-0033 兵庫県神戸市中央区江戸町 93 番 栄光ビル 5F
 (東京支社) 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-5-5 JR 恵比寿ビル 11F
設立 : 1995 年 10 月
資本金 : 2 億 995 万円
従業員数 : 123 名(2012 年 5 月現在)
ホームページ: <http://www.kdl.co.jp/>

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社神戸デジタル・ラボ セキュリティソリューション事業部 担当:三木
TEL: 078-327-2280 FAX: 078-327-2278 mail: info@proactivedefense.jp